

KTK ひゅうまん 京都

No 510 2019年5月号

編集／京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内
編集発行責任者／池添 素 電話&FAX(075)465-4310 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P 1 左大文字 つどめ
- P 2 常任委員会から 池添 素
- P 3 私が本当に望む生活とは… 大西里江
- P 4 車いす視点から社会を斬る 76 矢吹文敏
- P 5 聴覚障害者は訴える 25 篠田あゆみ
- P 6 リフト機能映像制作について ライスチョウジョナ
- P 7 2+2=詩 赤富士文兼
- P 8 尊厳ある暮らしの保障 中野 加奈子
- P 9 背中を伸ばしてひとと一緒に歩む 51 すぎな
- P 10 視覚障害者のサークルめぐり 89 一谷 孝
- P 11 知っ得情報 松本 美津男
- P 12 ありがとうございます・催し案内

左大文字

最近、ああ老いだな、と感じるときがある▲そのひとつが、歩行速度。

随分と遅くなったらしい。この連休前に、娘と妻にせがまれて、二人の孫を引き連れて、デイズニールランドやデイズニールシーとやらに出かけた(もちろん費用は私持ち)。娘に「シー(C)」ってどういう意味? って聞いたら「seaだ!」と吐き捨てられて、初めて納得したくらいにの初心者だ▲娘や妻は4歳の孫息子とはしゃぎ回り、まだ10か月の孫娘のベビーカー曳きが私の役回りになった。幾つかアトラクションを回っているとき、娘が突然キレた。「お父さん、遅い!」、とベビーカーを取り上げられた。孫娘から手が離れてホッとしたが、でも娘の叱責には滅入った。自ら好んで来たところでもないのに、親を親とも思わないあの態度は! ついつい儒教の精神にすがってみたくなった▲老いを感じるその2. 要件はいろいろあるけれど、何かと先送りするとき、したくになるとき。以前から、今日できることは明日までに持ち越さない、などと思ったことなどはなかったのだが、明日できることは今日しない、と開き直ることが極端に増えた。スケジュール帳を丹念に確認することも随分と減った。だからビックリするようなミスをする。あまり言いたくもないが、ダブルブッキング、約束の不履行、などなど。思い出すだけでも冷や汗もんだが、喉元過ぎれば、の通りでそのうち武勇伝となって酒の肴となっていく▲だから、この「左大文字」も毎回毎回、編集長からの督促。言い訳ばかりが増えるのも、老いのせいだろうか。 つどめ



「フラワーアレンジメント」
渡辺あひる

常任委員会から

〈メーデー歩きました〉

世間が元号や代替わりで大騒ぎの大型連休の初め、二条城前に集まった京障連の隊列に並ぶ仲間は50人余。本当は大きな声で「金ないもんから金とるな！」と叫びたかったのですが、拡声器が不調であきらめて、歩く歩く。あと少してゴールというところまで小雨がパラパラ。京障連からの恒例プレゼント、ジュースをみんなで飲んでのどを潤しました。

〈これで終わりではありません〉

「旧優生保護法に基づく優生手術を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」が参議院本会議において全会一致で成立しました。多くの問題点を残した本法です。内容面の不十分

さに加えて、当事者不在で進められたことに強い憤りを覚えます。障害者権利条約の締約国として、「私たち抜きに私たちのことを決めないで」という願いにも反し、国会の場で被害を受けたい人たちの意見を聞く機会が設けられませんでした。国による謝罪もあいまいなままで、法成立時の内閣総理大臣の「反省とお詫び」は、いかにも形式的です。今後懸念されるのは、優生保護法被害の本質問題の固定化で、子どもを持つ権利、持つか持たないかを自ら選択する権利が奪われ、生涯にわたる心身への影響を与え続けることへの代償が320万円の一時金というのは余りに低すぎると思っています。全国7地裁で進められている優生保護法被害裁判の原告を

これからも支援し、優生保護法被害問題から学び、被害者とともに優生思想や障害者排除・差別を乗り越え、すべての人のいのちを大切にする社会の実現に向けて力を注いでいく必要があると思います。

〈安倍政権を

終わりにしよう!〉

7月には参議院選挙が予定されています。巷では衆参同日選挙もささやかれています。いずれにしても10月の消費税増税を控えて、一票での意思表示が求められています。安倍政権を終わりにして、辺野古の新基地建設をストップし、憲法改悪をあきらめさせ、戦前ではなく、戦後を貫き、平和を希求する世界に誇れるこの国にするチャンスです。投票に行きましょう、でもその前に、候補者の主張を聞き、障害者問題への問題意識をチェックしましょう。

池添素(京障連事務局長)



私が本当に望む生活とは・・

2018年8月29日、京都社会保障推進協議会はラポール京都で「私たちが望む地域（共生）社会を考えるフォーラム」を開催して、障害福祉施設や介護施設、依存症リハビリ施設、弁護士、学者、当事者の家族などさまざまな角度から、「共生社会」とは何か、政府の進めようとしている「共生社会」で本当にみんなが幸せになれるのかを考えました。この集会における大西里江さんの発言です。（文責・編集部）

② 障害者自立支援法が壁に

主人が入所した平成16年は措置制度で、療護園には夜間医療従事者がおられました。しかし、平成18年に自立支援制度となり、療護園は生活施設か医療施設か選択することになり、園は生活施設を選びました。

☆

自立支援制度になって10年。10年前は医療行為も少なく、活動的な入所者さんたちも加齢に伴い何らかの医療行為が必要となりました。今は、夜間は介護職員が2〜3名ですので、誰かが急変すると大変なことになるのは理解できます。施設の現状は十分理解しているものの、主人が好きな園で生活させてあげたいと、私はとにかく一度、園に戻ってほしいと思いつつの折衷案をお話しました。

「初めての病院に行くなら、

私がすぐに行ける自宅近くの病院がいいです。受け入れて下さる病院が決まるまで一旦園にて生活させてもらえることはできないでしょうか？」と。ようやく主任さんが、「職員会議でこの

ことをお話させてもらって、その結果を連絡します」と言われました。

話し合いは終わり、何とか園での生活ができるようにと願いつつ、どうして何故、これだけ拒べたのか？ 主人が重症だからなのか？ でも何かおかしい。本当に主人にとってこれいいのか？ いろんな思いが交差していきました。そして3日後、「次の病院が決まるまで園に帰って来てもらいます」と連絡があり、そして3月初めに退院して園で過ごすことができました。

☆

園に戻ってからは、穏やかに過ごしていたのですが、1カ月後、自宅近くの病院で受け入れてもらえることになり4月中旬、病院にかかりました。

（③に続く）

大西里江

車いす視点から社会を斬る!

矢吹 文敏 (日本自立生活センター)

昨年夏から暮れにかけて、

私は胆のう炎を悪化させてしまい、入院を繰り返して、年末近くには遂に手術。命を取り留めた。

その入院中に、ふとした思い

付きなのだが、若い頃に一時期興味を持った短歌(のようなもの)を一日一首創ってみようと思った。

2019年1月1日から数えたとしても、今日までに130首なければおかしいのだが、手元にはまだ105首しかない。

毎日同じような空間で生活しているとしんしい発見が少ないからか、それとも観察力が弱いのか。いずれにせよ、しつかりと短歌の勉強をしたわけでもないし、とりわけて才能があるわけでもない。短歌にとって致命的

な言葉の数も少なく、万葉集や

古今和歌集など教科書に書いてあったのもほとんど忘れていて、石川啄木とか斎藤茂吉の名前は思い出すが、その詩の中身はよく解ってはいない。

ただ、私の性格は恥をかくこととにさほどの躊躇はない。障害者であることのプライド以外は案外とどうでもよい。

そこで、ど素人の歌を何首かご紹介して笑っていただくことにしたい。

☆

◇治療法どれを選ぶか貴方です
◇リスク秤て丁か半(2)
◇久々の連れ合いの手の洗髪に命の復
◇帰しみじみ思う(4)
◇日産の車日仏駆け巡り除夜の鐘鳴るゴ
◇人(6)
◇人が持つ喜
◇怒哀楽の表情をいつ奪われし君



◇「健常者」も
◇哀しき(9)
◇しも定義があるならば今すぐ示
◇せ私の前に(10)
◇諦めたご馳
◇走前に目が迷う食べても良いよ
◇の医者(かみ)の一声(11)
◇インフルを避けて籠るを幸いに世
◇間の嵐全て他人事(15)
◇落葉の被爆アオギリ寂しくも夏合う
◇人の元気を想う(20)
◇忘れる
◇なそう言われても悔しくも災害
◇の爪日々疎し(61)
◇間違いであつて欲しいと祈るのみ癌と
◇闘う友の知らせに(65)
◇家路
◇まで冷たき月が追いかけてビル
◇の合間に見えつ隠れつ(67)
◇若き時彼女(ひと)を想いし眺む
◇月老いを姿に今を伝えん(68)
◇昨日よりちよつと太ったお月
◇様場所も高めのお出迎え(71)
◇鶯(うぐいす)の初音に見あぐ

木々の間に椿の赤き春を発見
(75) ◇軒並みに貼られしビラ
の文字悲しダルク来るなど無知
なる排除(77) ◇自己嫌悪誰が
教えたその価値観引きこもる程
の値打ちは無いぞ(78) ◇四匹
の野良ニヤン揃ってお出迎え妻
へと違つて歓迎寂し(76) ◇年
度末わが家にパッと春が来た出
版記念で戴きし花(85) ◇道を
踏む春は花びら秋モミジ夏は陽
炎(かげろう)冬に白雪(91) ◇
老いの道急いで歩く気もないが
どうやら道を間違えたかも(95)
◇駅員と交わす言葉は今日もま
た春夏秋冬暑いや寒いや(96)
◇友は今抗がん剤を受けて立ち
跳ね返すべく余命宣告(98) ◇
じわじわと改憲操作功を成し世
論調査の賛成多く(100) ◇今特
に欲しいわけではないけれど何
故配られぬティッシュの兄ちゃ
ん(姉ちゃん)(102) ◇子ども
の日児童憲章読み返しおよそ真
逆な大人の社会(104)

聴覚障害者は訴える

2019年5月上旬、介護福祉士やホームヘルパー養成2級の資格を取得したろう者の活動団体である全国ろうあヘルパー連絡協議会の総会・研修に参加しました。今年で15回目の開催です。当協議会の会員は140名で、年に2回研修と交流、機関紙発行、厚労省対要望交渉等活動をしています。

☆

今回の研修は、『社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会が創った手話村とはどんなところ？』をテーマに、当協会の理事長である植野圭哉氏が講演し、施設見学をしました。ろう者が通う就労支援B型事業所、グループホーム、訪問介護事業所、地域活動、支援センター、生活介護、相談、手話通訳者養成、手話通訳派遣など一カ所にまとまった手話村を実現しています。詳細は、千葉聴覚障害者

センターのHPをご覧ください。地域で手話で対話をとる環境のなかで、就労・生活・憩いの場が揃える社会資源は、全国ではまだまだ少ないのです。

☆

今回の研修は、『社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会が創った手話村とはどんなところ？』をテーマに、当協会の理事長である植野圭哉氏が講演し、施設見学をしました。ろう者が通う就労支援B型事業所、グループホーム、訪問介護事業所、地域活動、支援センター、生活介護、相談、手話通訳者養成、手話通訳派遣など一カ所にまとまった手話村を実現しています。詳細は、千葉聴覚障害者

訪問介護事業所のどこも「聴こえないヘルパーは、訪問先で利用者とのコミュニケーションは不利ではないか」とろう者を登録させてくれませんでした。「私たちは、聴こえなくてもできることはある！」そう思いをもった修了者は府聴協に要望

を出しました。府聴協は、聴覚障害者の支援や通訳者養成など事業を運営する社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会に、ろう者ヘルパーの訪問介護事業を始めてほしいと要望しました。そして、2000年6月、当法人は訪問介護事業所『ホームヘルプステーションきこえの森』を開所しました。未就学で文字が読めない、書けない人もいて手話も通じず独特な身振り手振り表現でもその人の話内容がわかるのは、やはりピアろう者ヘルパーです。ろう者ヘルパーが訪問をして、手話で自分のことを話し始めた利用者も少なくありません。

聴覚障害者支援の専門性のある訪問介護事業所は、全国では6カ所（札幌、千葉、愛知、京都、大阪、兵庫）しかありません。47都道府県に手話コミュニケーション集団的なろう者の就労と生活を支える社会資源の環境を整

そのためには、私たちは、もっと勉強しなければなりません。

篠田あゆみ
(京都府聴覚障害者協会)



リフト機能映像制作について

ライスチヨウジョナ

の反射でリフトなしでは全く見えません。展示物はだいたい健常者の場合の胸元に来ており、こんなに高さがあるのかと思います。知らされました。

現在、車椅子目線とリフト機能目線の違いを再現した映像制作を行っております。映像制作に際して色々な場所に行っており、リフト機能を使用することで改めて気づかされたことがあります。

今回はそれをいくつかご紹介したいと思います。

☆

映像制作のために撮影に挑んだのは今年の2月のことでした。まず始めに撮影したのは大きな画用紙に絵を描くライブペインティング。私の顔の真横には小型カメラを固定し、ちょうど目線の高さを持つてくることで、私がどのような物の見え方をしているのかを記録します。普段イベントで絵を描いている

の反射でリフトなしでは全く見えません。展示物はだいたい健常者の場合の胸元に来ており、こんなに高さがあるのかと思います。知らされました。

ときは非常に神経を絵に集中させた状態で描いているので物の見え方の違いを意識することはありませんでしたが、今回その見え方を意識した際、少しの高さの差でも描きやすさに圧倒的な違いがあることに気づきました。

描き終わった後に、描いた絵を見てみると約1m×1mの非常に大きな絵が描けていることがわかりました。

次に美術館などで展示品を見る際の再現を行いました。今回直接美術館での撮影許可をとることはできなかつたので、丸太町にある某出版社の歩道沿いで展示してある書籍を見に行きました。書籍の展示はちょうど目線の20センチほど上にあり、しかもガラス張りになっており光

そして銀行のATMの使用について。皆さまご存知かと思いますが、ATMの画面は上を向いており、更に画面が暗くなっているため、車椅子ユーザーにとっては少し目線より低い程度では全く画面が見えません。健常者が立った状態で覗き込むような体勢でないと見えないような設計になっています。これにはリフト機能を使っても「ギリギリ見える」といった具合です。

要求する必要があると感じましたが、リフト機能を使用しなるとか見えるぐらいであれば、一般の車椅子ユーザーにとっては使用がほぼ不可能なのではないかと実感しました。

エーションについての撮影はほぼ完了していますが、現在は他のリフト機能ユーザーにインタビューを行っております。沢山のリフト機能ユーザーのお話をこの映像に盛り込みたいと思っておりますので、他のリフト機能ユーザーをご存知の方やご協力いただける方はぜひお声がけいただけると幸いです。

次回裁判は7月2日午前11時。傍聴支援もよろしくお願いいたします。



2+2=詩

「鯉のぼり」

小窓に飾られた鯉のぼり。小さな青い鯉のぼり。
今は自分は小さいけれど、いつか大きくなりたいと
夢を見ながら泳いでた。

ある晴れた日に見上げた空に、大きな雲が浮かんでた。

それはまるで龍のよう。

自分もいつかはああんりたい。

決意を新たに鯉のぼり、窓から空に飛び出した。

自分とおんなじ色をした、溶け込みそうな青い空。

風に任せて飛んで行く。

いつかは大きな龍になる。

夢の成否は空のはて。

「狭くて大きい」

生き物が関われるのは狭い世界。

けどどちつぽけな僕らには、狭い世界もとても大きくて。

世界に大きさに途方にくれて。世界の狭さに窒息しそうで。

そんな世界が僕らの世界。

僕らの世界はそんな世界。

「お祈り」

遊ぶ子どもの笑い声を聞くたびに、
少し口の端持ち上がる。

見つめてくるお店の犬猫見るたびに
なんだか胸が締め付けられる。

どうかどうか願わくば、

彼らみんなに幸せが、ありますように。

そう祈らずにはいられない程、

彼らは価値あるものだと思う、から。

「子どものようだ」

幸せな時間。楽しい時間。

いつか終わるなんて信じられない。

気づけばみんな流れのかなかた。

辛い時間。嫌な時間。

いつか終わるなんて信じられない。

いつまで待っても終わらない。

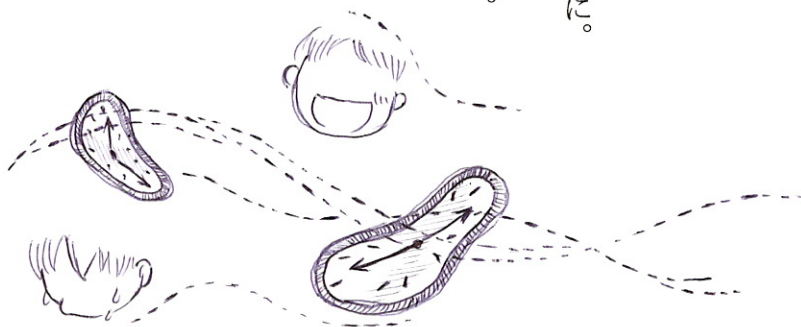
楽しいものはさっさと取り上げ、嫌なもののはほったらかし。

時間の流れ、時間の神様。

なんてわがままでままならない。

そういうものだと分かったつもりで、

それでもやっぱり腹立たしい。



尊厳ある暮らしの保障

—生活保護制度のイロハと明日

中野加奈子（大谷大学准教授）

(5) 生活保護制度を利用した「暮らしの実態—原告の声」

生活保護制度の本来的な役割は「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するものです。では、実際に生活保護制度を利用した人の暮らしは、こうした生活水準が本当に保障されているのでしょうか。

京都の新・生存権裁判の原告であるAさんは、裁判所で自らの生活実態について「身体に障害があり発語が難しい。けれども自分の思いはしっかり伝えたい。そのための工夫を色々している。意見陳述の原稿はiPadを使って自分で書いたが、iPadは中古でも3万円はかかってしまう」と述べられました。

また同じく原告のBさんは、若い頃から「一型糖尿病」という病気と闘っておられます。体調が良い時にはアルバイトもされています。しかし、生活保護費やアルバイト代から、家賃、水光熱費、新聞代などを引くと、私は実際に節約している「映画

約3万3千円しか手元に残りません。そこから、食費や衣類代などを支出することになります。野菜をたくさん食べるように主治医から指導されているのもは省き、切り詰めることでも、値段が高くて買うことができません。どうしても私たちが「月に一度の旅行」「主治医に指導されている食事内容」「自分の意見を表明するためのiPad」を「無くて済みますことのできる車いすを利用しながら地域で暮らしをされています。Cさんは身体障害があり電動人暮らしをされています。Cさんは意見陳述で「別に贅沢な暮らしはしたくないけれども、人間的、文化的な生活を送りたい。例えば、映画を1カ月に1本みる」とか、美術館に行くとか、年に1回旅行するとか、たまに友達と食事するとか、そういう程度なものなのだ」と述べられました。

や旅行なんて、贅沢だ」という意見や「節約」とは国語辞典を引くことと「無くて済みますことのできるもの」にしてしまっても良いのでしょうか？ 必要なものまで切り詰めることは、もはや「節約」とは言わないのではないかと、私は考えています。

(6) 女性の貧困と生活保護制度などに続く。

背中を伸ばしてひんやりと一緒に歩む

すぎな（訪問看護師）

51 訪問看護事業所では携帯待機体制を採るところが多い。オンライン体制を採っていない事業所もあるが、医療機関がバツクにあつてかなり大規模なところが当直制をとるか、初めから緊急時の訪問看護を受けないという事業所ぐらいで、たいてい

午後から用事があるので、いつもの訪問を午前中に終わって欲しいという話であった。何も夜10時過ぎにかけてこなくてもとは思ったが、色々言うとかえって話が長くなる。ハイと受けておく。

食事を作っているときにかかってくることもあり、火の始末など出かけるのに時間がかかってしまう。だから私は、携帯当番の時はあまり凝ったものを作れないと、さぼる口実にしている。

めったにないが、同時に2か所からかかってくることもある。そういう時のため、緊急の携帯にはバックアップの携帯を登録しておいて、転送などで対応する。しかし、うちのようない小さな事業所は、携帯当番のほかにバックアップ要員を作るなどできず、ずっと私が持っている。先日ついに同時に2か所緊急訪問の事態になった。連絡を取り合い何とか対応できたから良かったけれど、小規模事業所の辛いところではある。そういうことが起きないように、予測を立てて早めに対処をしておくことが大事なのだが、最近の在宅医療は病状が不安定なまま帰って来たり、医療デバイスがたくさんついていたりと複雑化しており、予測が困難なケースも多くなってきている。

の場合、緊急用の携帯を看護師が交代で持って、24時間を繋いで365日連絡と対応ができる体制を作っている。

タイムング悪く、今かかってきたら嫌だな、という時に電話がかかってくる。お風呂に入ってお湯を体にかけて、ちょうどその時、びっくりするぐらい元気な音で携帯の呼び出し音が鳴り出した。とりあえずタオルで体を拭いて出てみると、「〇さんか？ 明日の訪問やけど

所からかかってくることもある。そういう時のため、緊急の携帯にはバックアップの携帯を登録しておいて、転送などで対応する。しかし、うちのようない小さな事業所は、携帯当番のほかにバックアップ要員を作るなどできず、ずっと私が持っている。先日ついに同時に2か所緊急訪問の事態になった。連絡を取り合い何とか対応できたから良かったけれど、小規模事業所の辛いところではある。そういうことが起きないように、予測が困難なケースも多くなってきている。

私自身は、携帯当番の時はビールが飲めないのが不満なくらいで、それほど待機の緊張感もくちよつと悲しくなっていく。しかし、私の不満に対して家族もスタツフも、「ちようど良い休肝日でしょう。」と言って取り合ってくれない。

看護師は、緊急携帯を持っている間、コールがあれば必要に応じていつでも出勤できる体制を作っているが、それは休みであったり、次の勤務までのインターバルの休憩時間だったりする。つまり、自分の時間にも関わらず仕事が携帯の形を取ってついてくることになり、携帯の

「〇さんか？ 明日の訪問やけど」

「明日は所緊急訪問の事態になった。連絡を取り合い何とか対応できたから良かったけれど、小規模事業所の辛いところではある。そういうことが起きないように、予測が困難なケースも多くなってきている。」

視覚障害者の サークルめぐり(89) クラブ員の思い

オセロサロンは、毎月第3月曜日の午後1時半から、京都ライトハウス地階研修室で活動しています。始まる前と終わってから30分は、歓談などの時間としています。

今回の執筆者は、山梨県出身で20歳に京都へ来て仕出し屋で修業されました。平成15年に視力低下により退職し、平成17年に視覚障害者福祉センターの按摩・マッサージ・指圧師養成課程に入學しました。現在は、自宅の療養所でマッサージと指圧業をしておられます。

初めて体験した

視覚障害者用オセロ

(長澤 義尚)

私がライトハウスを知ったのは、補装具で申請した白状をライトハウスに受け取りに行った

時でした。そこで船岡サロンを知り、興味半分でオセロサロンを覗いてみました。

今年2月の第3月曜日、地階

研修室を訪ねると、数人のメンバーとルームボランティアがお待ちしていました。皆さん温かく私を受け入れてくださり、オセロのルールやオセロ盤にある障害者のための合理的配慮などについて教えていただきました。

オセロは、競技者2人が黒と白に別れて勝負するゲームです。オセロ盤は縦8マス横8マスの64マスで構成されていて、中央に黒が表の石と白が表の石をそれぞれ2個ずつ置いてゲームスタートです。黒の競技者が相手の石を縦横斜めのいずれかで挟み、挟んだ石を表が黒になるよう裏返します。続いて白が

同様に黒の石を挟んで白に変えます。同様の手番を繰り返していき、最後に石の数が多かった色が勝ちとなります。頭を使う

ゲームであるものの、ルールが単純で、囲碁や将棋よりも取っ付きやすいのがオセロの魅力の一つです。

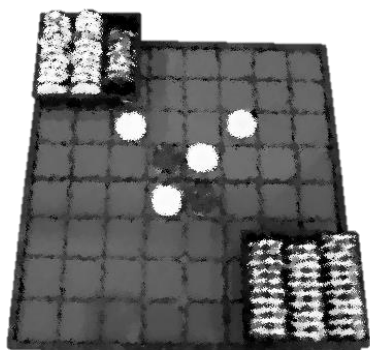
オセロ盤には、幾つかの工夫がされています。石の黒色の面は渦巻き状の凹凸がついていて、白色の面はツルツルしていますので、触って分かるようになっていいます。盤は、マスを区切る縦横の線が浮き出しており、各マスは四つ

の区切り線に囲まれた正方形の窪みのようになっていますから、置かれた石に触っても石がはみ出しません。また、盤に磁石が入っているため石が動きにくいという工夫もされています。こうしたオセロ盤を使えば視覚障害の有無に関係なく楽しむことができます。

このような事を教えてもらいながら、初めて体験しました。初心者ながらも初日から楽しめるもので、メンバーの方と互角にやり合ったと思える一時でした。ま

た、偶然にも視覚障害者福祉センター時代のY先生と再会したいへん懐かしく感じました。3月にサロンを訪ねた時の対戦相手はY先生で、熱戦の末、私が勝ち、とても満足しています。

今後も仲間との親睦、交流を図りながら、オセロを長く続けていき活力にしていければと考えています。



知っ得情報

バリアフリー改修で固定資産税減額

松本 美津男

新築された日から10年以上経過した住宅（賃貸住宅を除く）で、バリアフリー改修して適用基準を満たせば固定資産税が減額されますので簡単に紹介します。

1 適用基準

- (1) 2020年3月31日までの間に工事が完了したもの。
- (2) 居住部分の床面積の割合が1/2以上であるもの。
- (3) 障害者（手帳がなくても地方税法施行令第7条に該当する者も）、65歳以上の者、介護保険法に規定する要介護認定若しくは要支援認定を受けている者のいずれかの者が居住していること。

(4) 補助金等を除いたバリアフリー改修費用が50万円を超えること。

(5) 改修後の床面積が50㎡以上280㎡以下であること。

2 減額期間

改修工事が完了した年の翌年の1月1日を賦課期日とする1年度分のみ。

3 軽減税額

床面積100㎡相当分までの固定資産税額の1/3を減額。

※申請は工事終了後3カ月以内に行う必要あり。

〈問合せ先〉

各自自治体の固定資産税担当課

あなたもぜひ 仲間に



サロン・サークル・地域活動展開中
生活支援スタッフ(資格不要)募集中
介護職員(資格要)募集中

ひとりぼっちの高齢者をなくそう
元気な高齢者はもっと元気に

「よろず相談」承ります(随時)



あなたも支える存在に
京都市北区紫野東野町1-5
電話075-432-3636

命の平等をかけた、 無差別平等の医療と 福祉の実現をめざす

働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を

目指す方をご紹介ください



京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階

TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017

Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>

e-mail: info@kyoto-min-iren.org

ありがとうございます

■年会費 小宮山繁・佐久間正雄
山根郁夫・米盛晴江
(敬略 2019/5/17)



■第4回 加藤周一記念講演会

日時：5月25日(土) 14:00~17:00

場所：立命館大学以学館1号ホール

内容：講演「加藤周一における日本文化への視線—その変貌と意味について」海老坂武さん(執筆業)

参加自由・無料

問合せ：465-8225(加藤周一現代思想研究センター)

■憲法学習講演会

日時：6月1日(土) 13:30~16:00

場所：同志社大学寒梅館ホール

内容：講演「市民と野党の共闘で安倍改憲に終止符を！」渡辺治さん(一橋大学名誉教授)

参加自由・無料

問合せ：050-7500-8550(憲法9条京都の会)

■講演会

日時：6月2日(日) 11:00~12:15

場所：福祉広場1階ホール

内容：講演「この子とともに生きる」大西里江さん(重度障害児の親)

参加自由・無料

問合せ：465-4310(京障連)

■9条改憲に反対し、安倍政権の退陣を求める第2回京都アピール市民集会

日時：6月8日(土) 13:30~16:30

場所：和牛登録会館(烏丸御池東側上がる)

内容：お話し①「平和には武器はいらな

い！」池内了さん(名古屋大学名誉教授)

②「安倍政権の外交政策を検証する—安保・沖縄基地問題を中心に」猿田さよさん(弁護士)

③「安斎の視角—選挙・原発・核兵器&元号」安斎育郎さん(立命館大学名誉教授)

参加費：500円

問合せ：256-3320(市民共同法律事務所)

■2019年度春季特別展「よみがえる沖縄 1935」

日時：~6月29日(土) 9:00~16:30

場所：立命館大学国際平和ミュージアム

内容：アジア太平洋戦争末期、過酷な戦火にさらされた沖縄。その10年前、沖縄には人々の平和な暮らしがありました。にぎわう那覇の市場、のどかな軌道馬車、糸満の漁師たちが暮らす一方で忍び寄る戦争の影。朝日新聞の記者が1935年に撮影し、「海洋ニッポン」という記事に掲載した写真には、貴重な戦前の沖縄の営みが写し取られていました。沖縄戦で一変した沖縄。戦前の沖縄の生活の中にも戦争の影響がひそみ、その後の沖縄と日本全体がたどった道とを合わせて考えることで、1935年以降、現代にもつらなる沖縄をめぐる問題に迫ります。

入館料：400円

問合せ：465-8151(立命館大学国際平和ミュージアム)